

「徳島文化芸術ホール(仮称)管理運営計画(素案)」に係るパブリックコメント実施結果について

令和4年12月16日(金)から令和5年1月16日(月)までの間、「徳島文化芸術ホール(仮称)管理運営計画(素案)」に対するご意見を募集した結果、24名の方から96件のご意見をいただきました。いただきましたご意見と県の考え方は次のとおりです。

番号	意見(概要)	回答
1	様々な観点から考慮されていて、県民の皆様からの意見も広く聞き取りをされていることなど心強く有難く思います。長年にわたって県民が望んでいるホールです。ぜひ持続可能な取り組みをお願いします。県民のホールとして、誇りが持てるホールとなることと考えております。	基本目標である「徳島ならではの文化芸術の力を結集し、夢と希望あふれる未来を創生する」の実現を図るため、一日も早い開館に向けた新ホールの整備を進めていくとともに、県民の皆様への誇りとなる施設を目指してまいります。
2	とても様々なことに配慮され、これからできる新ホールにますます期待の想いが強くなりました。建築・開館・管理運営と、まだまだ先は長く多大な尽力が必要となるかと思いますが、これからの徳島のため、次世代の方々のため、未来の希望の光の拠点となりますようお願いします。	
3	徳島には2000席を超えるホールがなく、今回初の2000席クラスのホールが建設されることを知りとても嬉しく思いました。自分はヴァイオリンやピアノなどを習っており、今回のホールで有名なプロの方を呼べ、演奏を生で聴けることをとても楽しみにしているからです。今回のホールは従来のものとは違う素晴らしいデザインで、徳島でしか見られない特別なものということが感じられます。自分はこのホールを、「音楽・芸術の国」のようにしたいと思っています。クラシックだけではなく、YoutubeやTikTokで流行している音楽やポカロ、ゲーム音楽なども聴きたいし、コンサートがない日でも人々の遊び場となるように気軽に入れ、今まで呼べなかったプロの人たちを呼んだりする、自慢ができるホールとなるよう運営を期待しています。	
4	フェニーチェ堺は「どれだけ地域の方に愛されていたかを考えて広報活動に取り組んでいる」とのことです。浦安音楽ホールも「地域に愛される」がキーワードになっています。徳島の新ホールも県民に愛される施設になることを願っています。	
5	ホールに行くこと自体が嬉しくなる施設になると良いなと思います。エントランスから客席まで別世界で特別な時間になればと思います。ホールの持つ世界観も、観劇にいく楽しみの一つだからです。	
6	徳島文化芸術ホールを徳島県における文化及び芸術の情報発信拠点施設にする。 (阿波人形浄瑠璃公演、クラシック交響曲公演、オペラ公演、バレエ公演、能楽公演、歌舞伎公演、日本舞踊公演、詩吟公演など)	
7	現状、徳島市役所付近に向かう手段が少ないために徳島駅から歩くしかない。 公共交通機関しか使えないお年寄り等のことも配慮した公演時間や、料金割引の設定を考えてほしい。	県立のホール施設として、世代や性別、居住する地域などによらず、県民の皆様が鑑賞しやすい環境を創出していくことが必要と考えています。
8	駐車場が心配ですから、JR利用時でもスムーズに行けるように行事等の時間を考えていただきたいです。	施設に足を運ぶ敷居を下げ、来館者の利便性を高める手法として、いただいたご意見は参考とさせていただきます。
9	青少年特別料金の制度が公演により設定されると良いと思います。 【参考】滋賀県立劇場びわ湖ホールの例 ・青少年料金チケット 多くの主催公演(一部を除く)で、25歳未満の方に「青少年料金」を設けています。 ・U24席・U30席 大ホールのオペラ公演には24歳以下の方に「U24席2000円」、30歳以下の方に「U30席3000円」でご覧いただける席を用意しております。 ・青少年割引当日券 一部公演では、当日残席がある場合のみ25歳未満の方に対し、一般料金の半額で当日券を販売いたします。 ・シアターメイツ シアターメイツ(6歳以上18歳以下)に入会されると、シアターメイツ優待公演は青少年料金の半額でチケットを購入いただけます。	
10	公演のチケットを購入する際、ネット利用や座席指定がスムーズにできるようにしてほしい。	
11	クラシックの定期公演を実施し、年間パスポートを導入してほしい。	
12	作品をつくることもホールとして大事な使命だと思う。阿波踊りのように徳島が誇る文化が新たにできればいい。	主催事業の柱のひとつに「文化創造、魅力発信事業」を位置づけ、新ホールを拠点に創造する「徳島発」の新たな文化芸術を国内外に向けて発信してまいります。
13	建物が特徴的なので、映像美術を使って都市のランドマーク的な演出ができると良いと思う。	

「徳島文化芸術ホール(仮称)管理運営計画(素案)」に係るパブリックコメント実施結果について

令和4年12月16日(金)から令和5年1月16日(月)までの間、「徳島文化芸術ホール(仮称)管理運営計画(素案)」に対するご意見を募集した結果、24名の方から96件のご意見をいただきました。いただきましたご意見と県の考え方は次のとおりです。

番号	意見(概要)	回答
14	8～9ページに「観客の教育」に触れたいいくつかの文脈があります。これこそは欠かせない新ホール存在意義と事業目的を記述していただいたものと高く評価いたします。 データを持ち合わせませんが、徳島県民はまことに残念ながら、文化への関心はあまりに低く、芸術の理解力不足もあり、それは多くの方が認めるところと思われます。そしてそれは後進県どころか、あたかも文化不毛の地、あるいは文化から取り残された地と呼んでもよいほどのものです。 例えば、仮に、歌舞伎の大きな一座の公演が新ホールで開催される、または、ベルリン・フィルハーモニーのコンサートが開催されるとして、その会場に、都会の劇場やホールで味わう「舞台を楽しみ、舞台と一体化する喜び」が客席を包むかという、「否」と言わざるを得ないと思います。それはどなたもが気づく(既に気づいている)県民のマナーの悪さと鑑賞力の無さによるところが大きいわけですね。 つまり、素案にあるように、「文化芸術ファン拡大」に向けたプログラムを、計画的に時間をかけて、学校教育との連携をしながら、徹底的に取り組んでいただきたいと願っています。	県民の文化芸術活動の活性化などを図るためには、「舞台に立つ側」、「舞台を支える側」のみならず、「舞台を観る側」の立場も合わせて、バランス良く人材育成事業を展開していくことが必要と考えております。 各分野の専門家や教育機関をはじめとした関係団体と連携し、中長期的な視点を持って、文化芸術に関わる人材の育成に取り組んでまいります。
15	徳島県では、多様な分野のワークショップや、定期的な専門分野の指導を受ける機会が少なく感じます。 街に多くある学習塾や絵画、書道、音楽教室だけでなく、あわ文化4大モチーフに関連するような浄瑠璃や邦楽、合唱など、専門的な分野のワークショップ・技術指導が定期的に行われることを希望します。 阿波文化の裾野が、地道な活動により子どもたちの世代から広がるとともに、大人の学び直しのきっかけにもつながると思います。	
16	次世代人材育成事業の例にある、県下の小中学生向けの鑑賞プログラムの提供は、西部や南部も含む県内の子どもたちの文化に触れる機会を作るという意味で素晴らしい取り組みかと思っております。	
17	ワークショップなど主催講座を催していただくのを楽しみにしています。	
18	乳幼児の子育て中の身として、「家族で行きたくなる新ホール」という観点での意見になりますが、授乳スペース・おむつ替えできる専用スペースや、駐車場からわかりやすく安全な動線の確保はもちろんのこと、幼児向けイベントとして、幼い子どもたちが大好きであるキャラクターが出演するショーの開催なども想定していただきたいです。	新ホールが、誰もが日常的に立ち寄り、くつろげる場となるよう、授乳や、おむつ替えができるスペースを設けるとともに、駐車場からの円滑な動線にも配慮し、現在、実施設計を進めているところであります。 また、子どもや、親子の方も含め、幅広い立場の方のニーズを踏まえた事業を展開してまいります。
19	このホールに関する文には、当初から「徳島ならでは」という言葉が頻出し、それは、あわ文化4大モチーフ、あわ三大音楽に代表されるとの表現が付いて回っています。 それはこのホールが公共施設である以上は欠くべからざる意味あることだと思っておりますが、一方、「徳島ならでは」という言葉は国レベル、国際レベルのホールを目指していることが明示されていないのではないかと感じます。 例えば、8ページにみる「徳島を代表するホールとして」と記載されているのは、ごく当たり前のことであって、もっと広い活動の場(国や国際的な)を描いて、建築物の斬新なデザインだけでなく、全国や世界から注目される優れたホールをみざすとはっきり記載し、それをアピールすべきと考えます。	すでに国内外のメディアで広く取り上げられるなど、世界から注目を浴びる中で、新ホールにおいては、「徳島発」の新たな文化芸術を国内外に向けて発信するとともに、国内外から多くの人が訪れる「活気に満ちた場」となることを目指してまいりたいと考えており、素案の中でもその内容を記載しております。
20	全国ツアーと言いつつ、徳島だけ飛ばされたりするため、コンサートの開催場所として使用できる場所になってほしい。	新ホールは、大規模な客席空間、幅広い演出に対応可能な舞台設備、良質な音響などの特性を備え、様々なジャンルの公演の実施を想定する「大ホール」をはじめとして、「小ホール」、「多目的スタジオ」、「リハーサル室」などで構成します。
21	オペラを広めるために使用したい。	これらの諸室をもとに、貸館公演とのバランスも踏まえながら、幅広い鑑賞機会の提供に取り組むとともに、主催者や出演者、鑑賞者などが安心して利用できる場を創出することにより、文化芸術活動の活性化等につなげてまいります。
22	吹奏楽の大会で使えるようにしてほしい。 今みたいに県外のホールに行かないといけないう状況にはならないようにしてほしい。	
23	誰もが知っているような有名な方の演奏等を聴いてみたいです。 県外まで聴きに行く時間や手間を考えると、割高でも徳島で見られるなら嬉しいですね。	
24	全国的に開催されている著名な巡回公演を開催し、徳島でも観れるようにしてほしい。	
25	現状では鑑賞機会の少ない、総合的な舞台芸術と言える、オペラやバレエの鑑賞機会を増やしてほしい。	
26	劇団四季などの有名ミュージカルの地方公演を誘致してほしいです。	
27	本格的な演劇や能、狂言などの舞台を観たい。	
28	せっかくできる立派なホールなので、コンサートは月2回程度、継続的に行ってほしい。 貸館のイベントに頼るとジャンルが偏るかもしれないので、管理者がコントロールできる主催事業を充実してほしい。	

「徳島文化芸術ホール(仮称)管理運営計画(素案)」に係るパブリックコメント実施結果について

令和4年12月16日(金)から令和5年1月16日(月)までの間、「徳島文化芸術ホール(仮称)管理運営計画(素案)」に対するご意見を募集した結果、24名の方から96件のご意見をいただきました。いただきましたご意見と県の考え方は次のとおりです。

番号	意見(概要)	回答
29	<p>主催事業の想定の中に、「にぎわい創出事業」が位置づけられているのは、画期的なことだと思います。文化ホールという施設の整備はもちろん大切ですが、それ以上に、そこで働く40名もの職員が、文化振興に専門的に取り組むことができるということこそが極めて重要です。</p> <p>舞台芸術作品の鑑賞機会をつくり、人材を育成し、オリジナルな公演を開催するなどホールの基本的役割だけでなく、専門職員が、県民やNPOなどと連携・協力しながら、ホールやスタジオ、リハーサル室、活動室などの施設をフル活用して、地域の文化資源の持つ価値を見だし、活用し、地域の活性化を図っていくことこそが、これからの文化施設に求められる役割だと思います。</p> <p>これまでもNPO法人等が主体となって、川の魅力を活用するため清掃活動や遊覧船の運行を行ったり、ほとんど使われていなかった農村舞台を復活させ、人形浄瑠璃の魅力の普及を図ったり、遍路文化の普及に取り組むなどしてきていますが、ホールの職員がそうした活動をプロデュースし、さらに効果的なものにして徳島の活性化につなげていくことが必要です。</p> <p>芸術性の高い公演や、人気がありチケットの売りやすい公演を開催することが公共ホールの目的ではないはずです。</p> <p>地域の風土や歴史、産業、人々の暮らしとともに形成されてきた徳島の文化資源をプロデュースし、徳島の活性化につながる「にぎわい創出事業」をホールのメイン事業と捉えてもいいのではないのでしょうか。</p>	<p>公共ホールにおいては、これまで、文化芸術の「鑑賞や活動の場」の提供を中心に事業が展開されてきましたが、近年、「地域発の作品制作」や、「社会包摂機能の発揮」、「地域のにぎわい創出への寄与」など、求められている役割は多様化しており、「劇場・音楽堂等の活性化に関する法律(平成24年制定)」でも、改めてそれらの役割が示されたところであります。</p> <p>そうした状況の中、新ホールにおいては、文化芸術の「鑑賞や活動の場」を創出することはもとより、主催事業の柱のひとつに「にぎわい創出事業」を位置づけることとし、徳島市をはじめ、文化団体や民間企業、実演家など地域の幅広い団体等との連携のもと、管理者が持つノウハウ、人材、ネットワークを活用して、徳島におけるにぎわい創出に寄与する事業展開を図ってまいります。</p>
30	<p>参考資料の県民ワークショップのご意見にあるように、マチ☆アソビなどの大きなイベントと連携して活用していただきたいです。</p>	
31	<p>ホールやテラスなど施設全体を使った総合芸術祭のような企画が実施できると面白いと思う。</p>	
32	<p>埋蔵文化財の扱いが杜撰で拙速ではないか。</p> <p>旧文化センター周辺の調査結果は報告されているが、それは、今回の計画エリアの一部に過ぎない。出土したものへの評価、判断は早すぎると感じる。今も隣接エリアの調査を実施中と聞いているし、新駅(ホーム)予定地のエリアも当然埋蔵文化財の調査は行われるはずである。それらの結果を総合的に評価、判定すべきだ。それまで計画、工事は中断するべきではないか。</p> <p>また、保存仕様も全く変わる可能性もある。基本設計図では、地下オーケストラピットに何か飛び出しているような本当にいい加減な仕様でしかないし、換気、盗難対策、安全対策など真剣に考えている気配が感じられない。</p> <p>「未知への挑戦」においても文化財保存活用大綱を策定し、県民総がかりで文化財の保存と継承に取り組むと大見えを切っている。公開した方針を忘れてしまったのか。</p> <p>もしかしたら徳島城跡が、今よりもはるかに歴史的に重要な遺構である評価を得る可能性もあるかもしれない。</p> <p>また、全国的に城跡は観光の目玉である。他県を見習うべき。</p>	<p>新ホール整備に伴う埋蔵文化財の取扱いについては、最大限、貴重な遺構を現地保存できるよう検討してきたところであり、徳島市をはじめとした関係機関とも連携し、今後とも適切な保護とともに、積極的活用を図ってまいります。</p> <p>なお、オーケストラピットについては、遺構との間に適切な離隔(レベル差)を設けることなどにより、「埋蔵文化財保護」と「オーケストラピットの機能性確保」が両立できる計画として、設計を進めております。</p>
33	<p>ホールの立地の場所は徳島城に関わる歴史的要素が多分にある場所です。</p> <p>この場所に建てた意義を感じられるような、徳島藩の歴史を感じさせる、歴史ファンを取り込めるイベントも隣にある徳島城博物館と連携してやってほしいと思っています。</p> <p>県市協調の象徴になるのではと思います。</p> <p>また、開館までにホールに携わる担当の方々の共通認識を改めてお願いします。</p>	
34	<p>国際会議のイベントなども行えるような外国語対応にも配慮いただきたい。</p>	<p>イベント時の外国語対応にも配慮し、多言語による表記はもとより、施設の特性を活かした直感的に分かるサイン計画を進めるなど、外国人も安心して利用することができる環境づくりに努めてまいります。</p>
35	<p>団体客(修学旅行生とか)や観光ツアーのような大人数の観客を受け入れる。</p> <p>例えば、レストラン等がこの周辺では隣接するホテル1軒くらいだと思う。計画しているカフェでは対応できないだろう。</p> <p>地域全体でどう受け入れるか検討の余地があるのではないか。</p> <p>この素案全体に地域との連携の中身がなく、文字だけに終わっているように感じる。</p>	<p>「徳島市中心市街地活性化基本計画」を進める徳島市をはじめ、関係機関との連携を図りながら、新ホールが核のひとつになって、文化芸術を通じた県全域への誘客促進につながる取組みを進めてまいります。</p>
36	<p>主催事業等の中長期の事業展開に、「毎年、全ての事業を行っていくのではなく・・・」とありますが、そうではなく全ての事業を並行して行うことができる運営組織づくりと人的構成をすべく考えます。なぜなら、展開例の5年刻みの数字には根拠が無く、逆に並行実施した方が効率が良い事業もたくさんあることによります。</p>	<p>事業の展開にあたっては、「文化創造、魅力発信事業」、「次世代人材育成事業」、「鑑賞機会提供事業」、「にぎわい創出事業」による4本の柱のもとに、運営組織体制や予算規模、県内における文化芸術の裾野の広がりなどを総合的に判断しながら実施することを想定しており、持続可能な運営の中で、効果的に実施してまいります。</p> <p>なお、「中期」スパンでの方向性を示すため、ここでは、5年間という形で整理させていただきました。</p>

「徳島文化芸術ホール(仮称)管理運営計画(素案)」に係るパブリックコメント実施結果について

令和4年12月16日(金)から令和5年1月16日(月)までの間、「徳島文化芸術ホール(仮称)管理運営計画(素案)」に対するご意見を募集した結果、24名の方から96件のご意見をいただきました。いただきましたご意見と県の考え方は次のとおりです。

番号	意見(概要)	回答
37	徳島文化芸術ホールに愛称名をつける。(ネーミング・ライツを含む。具体的には日亜化学ひかりホールなど)滋賀県立芸術劇場はびわ湖ホール、京都市立京都会館はロームシアター京都、尼崎市総合文化センターはあましんアルカイックホールとなっている。	施設に愛着を持ってもらうとともに、認知度を高めるなどの手法として、いただいたご意見は参考とさせていただきます。今後、新ホールの開館に向けて、県民の期待感を醸成し、施設そのものだけでなく、「徳島」の発信という観点も踏まえ、効果的な手法を検討してまいります。
38	ネーミングライツをどうするか。愛称をどうするか。の検討も必要と思います。	
39	新ホールのイメージにあった、独自のかわいいキャラクターがいても面白いと思いました。私のイメージとしては、白や淡い色を基調としたかわいらしい動物のようなキャラクターです。	
40	開館前に行う広報計画について、工事着工段階から、「新ホールができるまでの工事現場レポート」のようなものが定期的に見ることができたら、県民の期待感を醸成していくのにとっても良い方法だと個人的に思います。	
41	プレ事業及び開館記念事業の際に、素晴らしい事業を予定されると思いますが、両事業に参加希望する団体を募っていただき、一定期間様々な公演やイベントが毎日(一日中)行われている期間を設けていただきたいです。 その期間にホールへ足を運ぶことで親みが生まれ、ホールを待ち望んでいらっしゃる方々のためにも、参加可能期間の設置をお願いしたい。	県民の期待感を醸成し、開館後の事業展開に向けた下地を作る「プレ事業」や、多彩な文化芸術に親しみ、施設が持つ特性などの可能性を体感できる機会となる「開館記念事業」は、基本目標の実現に向け、施設の土台づくりを進めていくにあたって、重要になるものと考えております。 いただいたご意見は参考とさせていただきます。今後、詳細の「プレ事業」及び「開館記念事業」の検討をしてまいります。
42	新ホール開館を記念に、一般参加型事業が増えることを希望します。 現在、邦楽やオーケストラ、オペラや歌舞伎、ミュージカル等、参加型の公演はいくつかありますが、徳島の文化の底上げとして、ホール発信で研修生を公募し、他の分野(合唱・バレエ・ダンス等)も含めた演者と、裏方(舞台スタッフ・公演に必要な人材育成等)を、短期又は長期で、学び、実践経験を積み上げられる参加型の設置をぜひともお願いしたいです。 演目や事柄によっては、子ども(小・中・高)、大人(大学生、高齢者)まで参加可能とし、導く側も公募できるかと思っています。	
43	プレ事業・開館記念事業に関しては、記念事業の核に外来オケやオペラ招聘を据えないと、地方に単に新しいホールができたに過ぎないことに終わります。 一方、こけら落としとそれを記念する公演は新築開店のお祝いを要素として含むことから、舞台を清める目的もあって、歌舞伎愛好家でなくても指向するところと思いますが、歌舞伎舞踊「寿式三番叟」などの一流歌舞伎俳優による上演を念頭に置いた計画が立案されるべきと考えています。	
44	こけら落とし公演は、このホールを売り出すのに大切な場になる。 辻井伸行や高嶋ちさ子など、世界的にも名が知られている演奏家にステージに立てほしい。	
45	開館記念事業について、「ホールでの開催イベントと運動した壁面デジタルアートや公園など周辺も巻き込んだイベントの実施」をし、施設内全機能がフル稼働するような大きなイベントにするべきと考えます。 また、あらゆる世代や多種多様な人が集い楽しめるイベントになるべきだと思います。	ご期待に応えられるよう、今後、組織体制の詳細な検討や管理者の選定等に取り組んでまいります。
46	各分野が交流し公演や講習、イベント等、現実に企画・制作し実現できる部門がほしいです。	
47	貸館事業を安心してできるよう、管理者はノウハウをしっかりと持ったところをお願いしたいです。	
48	運営スタッフの件、計画では日常のメンテナンス対応ができない。 理由は公開されている当選案および基本設計図では、雨水排水計画が全く示されていない(軒樋、縦樋がない、屋上・屋根部にパラペットがない)ので、すべて垂れ流し放流かと推測する。これでは自慢のガラス壁面や一般外壁も汚れ放題になる。従って、常時清掃と漏水点検のスタッフが必要で、当然経費も膨大になる。 先にも述べたように基本設計時にしっかりしたものがないと手遅れである。あとで実施設計でなんとかできるとは思わない。コストの検討は基本設計時にしっかりなされておくべきものである。	基本設計図では、詳細情報まで反映していませんが、雨水の排水については、新ホール周辺で想定される降雨量などを考慮し、排水勾配の確保や樋の設置等により、適切に計画しております。

「徳島文化芸術ホール(仮称)管理運営計画(素案)」に係るパブリックコメント実施結果について

令和4年12月16日(金)から令和5年1月16日(月)までの間、「徳島文化芸術ホール(仮称)管理運営計画(素案)」に対するご意見を募集した結果、24名の方から96件のご意見をいただきました。いただきましたご意見と県の考え方は次のとおりです。

番号	意見(概要)	回答
49	優れた管理運営計画の中心は、機能的な組織体制づくりと優れたセンスと才能あるプロデューサーを筆頭にした人的構成に尽きます。それらは素案に示されたとおりで、「徳島ならではの」事業だけでなく「世界レベルのコンサート」などの事業も展開することから、館長には経験豊かな人を国内から公募すべきと考えます。 また、プロデューサーは事業成功の生命線を担う最重要ポストであることから、人一倍秀でたセンスと高い専門性と国際的にも強い招聘力をもつ人を、世界中から募るべきだと考えます。	新ホールの基本目標、使命の実現に向けて、事業展開や施設管理を行うにあたっては、中長期的な観点から、専門性の確保やスタッフ育成を図ることが必要になると考えております。 いただいたご意見は参考とさせていただきます。今後、管理運営手法の詳細な検討と合わせて、組織体制等の検討を進めてまいります。
50	人的構成について、どのスタッフも音楽が好きで好きでたまらない人、演劇が好きで好きでたまらない人たちであることが必要条件と思われる。公営であるかどうかにかかわらず、既存のどの劇場、どのホールへお邪魔しても、そのような資質を有していると思われるスタッフに出会います。 スタッフの接客対応は会場の盛り上げに役買っていることは多くの方が知っているとおります。	
51	文化の専門スキルを持って学んだ学生が働くことができる受け皿になってほしい。 今、専門スキルを身につけても県内で活かす働く場が少ないし、また、仮に有期雇用が中心となると、長く働く場として働きにくいので、県外で働く場を探さざるをえない状況になると思う。	
52	何事においてもそうかもしれませんが、事業を行う際にも、担当の方が変わられてもご理解ご対応いただけるよう、共通認識出来る体制が必須です。	
53	徳島文化芸術ホールに公設民営方式を導入して、管理運営者は吉本興業、株式会社ザ・シンフォニーホールにする。鳴門市文化会館の管理運営者は、吉本興業でした。	新ホールにおいては、予算執行や雇用形態等の柔軟な運用が可能であり、民間のノウハウを活用した効率的な経営が期待できるなどのメリットが大きいことから、「指定管理者制度」を採用することとし、指定管理者の選定方法など詳細については、令和5年度以降に決定します。
54	「新ホールにおいては、『指定管理者制度』を採用することとします」とありますが、これは「指定管理(公募)」の方で実施されるということでしょうか。また、(3) 管理者に求める能力について詳細に記載があるように、組織を構成する各メンバーについても高い専門性を要求されることと思いますが、主要スタッフの人選方法が気になります。	一方で、「過剰なコスト削減による提供サービスの質の低下」や、「収益性が高い演目への過度な偏り」などにつながる可能性がある。新ホールの基本目標、使命の実現に向けて、設置者である徳島県と、管理者の双方が、事業展開や施設管理の方向性や効果等の共有化を図りながら、管理運営を行っていく必要があります。 また、新ホールにおいては、「文化芸術そのものの魅力を感じられる場」のみならず、「様々なきっかけにより幅広い利用ができる場」として、施設や事業の魅力を多くの方に享受できる機会を創出してまいりたいと考えており、そのためには、徳島県のみならず、文化団体、民間企業、実演家などと幅広く連携していくことが必要になると考えています。
55	管理運営は公募により実績のある団体に指定管理を定めることを望む。 民間の方が施設の効用を増進するための創意工夫、誘致活動の取組み、継続性のある事業展開などについての認識が深く、優れた誘致ノウハウを持っているが、直営にはそれがないように感じる。 持続可能な施設にし、決して赤字垂れ流しで税金の無駄喰い施設にはしてほしくない。 また、17ページの指定管理(公募)のデメリットとされている「行政との関係が希薄になる傾向がある」となっているが、なぜデメリットなのか理解し難い。我々の税金を投入した施設であるから、市民サービスの向上が考えられるべきで、上手く新ホールが活用され様々な機会を産んでくれる楽しい場になることが一番の県民としての願いであり「行政色」を出してもつまらないものにはしかならないと思う。	
56	管理運営計画素案を拝見しての感想ですが、文化芸術ホールの開設にあたり今後の徳島の文化環境の整備構想を見据え、未来の県民・市民にとって何が有効であり、何が求められるのか、施設を通して徳島県・徳島市の魅力向上を図っていく「シティプロモーション」や、市民の誇りとなる存在を目指す「シビックプライドの醸成」をどう実現していくかを長期的視点に立って構築されようとしていることが良く分かりました。 そのように考えをめぐらすとき、幅広いいわゆる民間の知見とホスピタリティ感覚を取り入れること、理想的な形での官民連携(PPP)での事業運営の実現こそが、より良い施設としていくための大きなポイントではないかと考えています。 本事業において、官と民とがどのような形でコラボレートするのが最も良い結果を生み出すのかを共に考える機会を頂戴できれば幸いです。	
57	18ページに「全国の主な公立文化ホール施設の管理者」が書かれているが、主な例のホールだけではなく、人口規模が同程度の山梨、福井、高知、島根、鳥取県の状況や四国の他県の状況も参考になると思います。	事業展開にあたっては、国や公的機関からの助成金等の外部資金収入についても想定していることから、ここでは、文化庁の「劇場音楽堂等機能強化推進事業」補助金の採択施設(大ホール座席数が1500席以上)等を例示として記載したところです。 ご意見のとおり、ここに記載している施設以外も参考にして、管理運営手法等を検討してまいります。
58	利用費用、予約の仕方などもあわぎんホールを目安に考えて頂けるとありがたいです。	新ホールは、県内で最大規模となる客席数や、演出効果を高める最新の舞台設備等を備える施設であることから、徳島県郷土文化会館などの県内ホール施設だけではなく、近隣同規模ホール施設などの料金体系や、各種設備の性能等を踏まえ、適切な金額を設定してまいります。
59	中学や高校の演奏会等でも使えるような金額設定にしてほしい。	
60	活動室は、防音、防振の環境を整え、音楽の練習でも気軽に使えるよう、金額設定は高くなりすぎないようにしてほしい。	

「徳島文化芸術ホール(仮称)管理運営計画(素案)」に係るパブリックコメント実施結果について

令和4年12月16日(金)から令和5年1月16日(月)までの間、「徳島文化芸術ホール(仮称)管理運営計画(素案)」に対するご意見を募集した結果、24名の方から96件のご意見をいただきました。いただきましたご意見と県の考え方は次のとおりです。

番号	意見(概要)	回答
61	合唱の練習で使用したいので、夜遅くまで利用できるとうれしい。特に平日。	夜間利用に対するニーズとともに、他の県内ホール施設とのバランス等も踏まえ、開館時間は「9時から22時まで」を基本としています。
62	休館日が週に1度の予定とあるが多過ぎると思う。人々が集い開放的で県民憩いの場とするならもっと開放すべきだし、当然稼働率が下がり収益も下がることを懸念する。	ご意見のとおり、「大ホール」や「小ホール」だけではなく、半屋外のテラスやエントランス広場を活用することにより、多くの方が利用しやすい「県民の憩いの場」にしていきたいと考えています。 一方で、スタッフの適正な労働環境の確保や、安全な施設管理に向けた設備等の保守点検の必要性などを踏まえ、「週1日」の程度の休館日を想定しており、今後、類似ホール施設の運用状況等も参考に、休館日の検討をまいります。
63	大ホールの予約受付開始日とリハーサル室の申込期間がまったく異なっているが、大ホールのニーズによっては、リハーサル室を同時使用したい公演もある。統一するのが利用者の立場にたった施策だと思うが。	「大ホールとリハーサル室の同時利用」については、素案の19ページに、「受付開始時期が異なる施設を同時に申込をする場合は、原則として、先に申込が開始する時期に同時申込を可能とします」と記載しているのとおり、大ホールの申込開始時期にリハーサル室を同時に申込できるよう想定しています。
64	急なリハーサルやスタッフ下見で、ホールを急遽使用したいことが発生する場合があるので、大ホールはスタッフも多く、当日担当スタッフの調整が1週間では難しいのかと思いますが、小ホールと多目的スタジオの練習利用分だけでも、1週間前締切にしていきたいです。	練習利用の場合でも、安全管理等の観点から、施設スタッフの配置が必要となるため、「利用日直前」ではなく、「利用希望日の2週間前」と例を書かせていただきましたが、今後、類似ホール施設の運用状況等も参考に、検討をまいります。
65	文化センターの場合は借りの日数が多い方優先、郷土文化会館は2日本番公演優先と設定がありましたが、そういった優先等がほしいです。 数日ホールをお借りしたいため、1日のみ予約希望の方と同時ですと、予約が不可になる可能性が多くなってしまいます。	利用調整の可能性や、詳細の優先受付の考え方については、今後、類似ホール施設の運用状況等も参考に、検討をまいります。
66	施設エリア内のいずれかに路上演奏可能な場所をつくり、普段から県民が自然と音楽を奏でたり触れられたり、自由な交流ができるようにしたら良いと思います。(もちろんホール公演に影響のない場所で。) また、予約制でお金を支払えばコンセントも使用できるようにしたらどうでしょうか。 千葉県柏市での路上演奏での例を載せると、 ・発電機、アンプ、ドラムを使用しないこと ・演奏場所は柏駅東口ダブルデッキ上 ・演奏時間は午前11時～午後10時30分 ・2m×3m区画内で演奏し、交通の妨げにならないこと ・掃除をすること ・販売行為をしないこと などのルールを制定して、ミュージシャン登録制での路上演奏できるようになっており、とても好評のようです。 にぎわいづくりや音楽文化の振興に繋がるのでぜひご検討していただければと思います。	エントランス広場や屋外テラス、カフェ等をもとより、新ホールが親しみの持てる施設として、訪れた人それぞれが楽しみを持って日常的に利用できる場となるよう、いただいたご意見は参考とさせていただきます。魅力ある空間づくりに向けた詳細の仕様や運用方法などを検討してまいります。
67	徳島の文化、芸術を発展させるために、県内ゆかりのアーティストをもっと応援してほしい。 気軽に路上ライブできるように野外テラスによりステージを設けてほしい。 徳島の夜は暗くこれといった美しいイルミネーションもないので、建物には夜になれば美しいLEDライトアップをしてほしい。(イベント時や何か慶弔事のとき意を示せるような変色可能なもの。) 徳島県民としての誇りを持てる素晴らしい施設にしてほしい。	
68	週末には、ホールだけでなく、その他のスペースでもイベントが開かれるようにしてほしい。	
69	にぎわいのある街作りがあるとみると、キッチンカーや休憩所の整備など、庭園にひろがる健全な賑わいが多くあるように思います。県民が安全に安心して休息を楽しめるような庭園の整備を望みます。	
70	自習室を設けてほしい。現在でも駅前に行くつか自習室が設けられているが、満席で使えない時も多い。そこで、駅前かつホールという静かな環境を活かして新しい自習室を作ってほしい。 また、新ホールは緑が豊かな設計になっているようなので、その中で緑を感じながら集中して自習ができる空間になればいいと思う。	
71	気軽に利用できるといいのですが、ゴミのマナー等が悪いので対策を考えてください。	いただいたご意見は参考とさせていただきます。

「徳島文化芸術ホール(仮称)管理運営計画(素案)」に係るパブリックコメント実施結果について

令和4年12月16日(金)から令和5年1月16日(月)までの間、「徳島文化芸術ホール(仮称)管理運営計画(素案)」に対するご意見を募集した結果、24名の方から96件のご意見をいただきました。いただきましたご意見と県の考え方は次のとおりです。

番号	意見(概要)	回答
72	県が、徳島文化芸術ホールへ、JR牟岐線の新駅となるJR幸町ゲートウエー駅又はJR新徳島口駅、徳島バスの徳島中央公園・裁判所北及び徳島中央公園・徳島市役所東のバス停留所からの利便性の向上を図る。	JRやバス、自動車など様々なアクセス方法に配慮した円滑な来館動線や、大規模公演時等における混雑緩和に向けた運用面での工夫を図ってまいります。
73	他の大きなホールでは、公演が終わって、駐車場から車を出すときに混み合っかなか出られないことがよくあるので、工夫してほしい。	
74	駐輪場について、あるのは良いことであるが、実際の使われ方を研究すべき。 理由は、JR阿波富田駅の放置自転車の山を見ればわかる。 多くの方が通勤用に使用して、そのうちに放置状態になる、この計画中の駐輪場も同じことになると思う。	催し物によっては、自転車で来館される方も多しと想定しており、類似ホール施設の状況も参考にしながら、円滑に駐輪場を利用できる運用を検討してまいります。
75	自転車でホールに行く人もかなりいるはずなので、駐輪場の記載も必要と思います。	
76	カフェは、お客さんが偏るようなお店ではなく、スタバのように万人受けするような空間になると、コンサートがなくても行きやすい。	カフェは、公演等を観に来られる方だけではなく、散歩や、通勤・通学途中など、様々な用途で訪れる方々に利用していただきたいと考えています。 いただいたご意見は参考とさせていただきます、運営面での課題も踏まえながら、詳細な運営方法を検討してまいります。
77	カフェには子ども用チェアを準備してもらうことと、カフェレストランにして、料理も提供できたら良いと思います。 子連れは移動が大変なので食事でもできたら大変有り難いです。	
78	公共施設なので難しいかもしれませんが、ホール予定地周辺には、飲食店が少ないので、アルコールもあるとさらに嬉しいです。 あとペットと過ごせる空間があると、すごく嬉しいです。	
79	ホール会員の設置。(会社企業・団体若しくは個人で入会可能。) ホールが発信の場となるのですから、イベント情報はもちろん、ホールと繋がり文化そして徳島の未来を担えるようにしてほしい。	ご意見をいただいた、いわゆる「友の会」の設立も含め、効果的に公演等の情報を発信していくとともに、多くの方々が、新ホールを身近に感じ、親しみを持っていただく手法を検討してまいります。
80	建物の維持管理費だけでなく、未来への投資として事業費も充実させていくべき。	新ホールの事業展開、施設管理等に係る経費は、基本目標、使命の実現に向けた未来への「文化的投資」であり、「維持管理費」、「人件費」、「事業費」の全体的なバランスを取りながら、持続可能な形の中で施設運営を行ってまいります。
81	クラウドファンディングを取り入れて事業展開を行う。	いただいたご意見は参考とさせていただきます、新ホールのファンづくりとともに、収入確保に向けた手法を検討してまいります。
82	県民の使い勝手に配慮した利用制度を整えるとともに、客観的な視点による評価・検証の体制をしっかりと構築してもらいたい。	新ホールは、公立施設である以上、公平性、透明性のみならず、効果や成果の把握等が求められると考えています。 「自己評価」、「設置者評価」に加えて、第三者による「外部検証・評価」の導入を見据え、今後、管理者選定の方向性と合わせて、詳細の手法を検討してまいります。
83	開館準備の業務に続く今後のスケジュール【管理運営関係のスケジュール】にある管理者の選定等は、令和5年度から同7年度までとなっています。令和8年度開館を予定しているとしたら、この人選は早めた方がベターと思われま。	いただいたご意見を参考とさせていただきます、必要な管理運営体制を整えてまいります。
84	災害時の避難場所として利用できればと思う。	地域の防災機能を担う拠点として、「地震・津波や風水害など災害時の一時避難場所」や、「一般災害時及び地震災害時の避難所」として活用できる計画とし、事業継続計画の作成等も含め、発災時の詳細な運用について検討してまいります。
85	災害時には地域の防災機能を担うとのことで、期待しています。	
86	巨大地震発生時の事業継続計画を策定するかどうかの検討も必要と思います。	
87	現在公開されている施設の設計仕様は、従来のものと比べて極めてユニークであるが、提示されている素案はごく普通の施設に関する、一般的な内容とあまり変わらない。実際、参考としているのは現存する箱もの物件である。 各ホール屋上や大小ホール間の階段状の屋外テラスに対する安全管理、防犯対策が後回しだと感じる。行政関係者は「安全安心」が口癖であるが、こういう公共施設こそ安全を最優先に考えるべきである。 素案では末尾に今後の検討とうたっているが、設計時点で綿密な検討と配慮がなされていないと手遅れになる。例えば、夜間・休館時はテラス等をどう運用するのか、閉鎖か。エレベーターは停止か。閉館時間に残留者がいないかの確認は人海戦術か。監視カメラを何台も配置して見張っているのか等。できないならテラスは中止するべきと思う。	屋内の諸室に加えて、屋外テラスやエントランス広場、屋上などは、24時間通り抜けが可能な通路を除いて、夜間等は立入制限することを想定しており、安全確保が図れるよう、実施設計を進めております。

「徳島文化芸術ホール(仮称)管理運営計画(素案)」に係るパブリックコメント実施結果について

令和4年12月16日(金)から令和5年1月16日(月)までの間、「徳島文化芸術ホール(仮称)管理運営計画(素案)」に対するご意見を募集した結果、24名の方から96件のご意見をいただきました。いただきましたご意見と県の考え方は次のとおりです。

番号	意見(概要)	回答
88	他県の既存のホールで問題になっているが、客席2階席からものが落下し、1階が危険であるとして、2階席外周に落下防止ネットを張り巡らしたが、それが視界を妨げると問題になっている。 今回の大ホールは何重にも跳ね出し客席があり、危険性はより高い。どういう安全対策を講じるのか。	テラス席外周の立ち上がりの壁における形状の工夫や、3Dモデルの活用によるサイトライン検証を踏まえた座席配置などにより、「落下防止対策」と「鑑賞環境の確保」の両立を図ることができる計画として、実施設計を進めております。
89	出演者の控室を舞台から近い場所に設置してほしい。	「大ホール」、「小ホール」ともに、控室となる「楽屋」を舞台下手周辺に設けることで、実施設計を進めているところであり、車椅子の方、楽器を持った方、衣装を着用した方なども、円滑に移動できる動線を計画しております。
90	各控室等への移動が分かりやすいように。車椅子の方が安全に通れますように。	
91	どこのコンサート会場に行っても、女性用だけ長蛇の列が出ていますので、女性用の手洗いを多めに設置してほしい。	客席規模に合わせ、必要となるトイレの便房の数を設けることとして、実施設計を進めております。
92	トイレの数は多めにお願いします。	
93	大ホールのイメージがデザイン性を重視し過ぎていて肝心の観客の見易さ聴きやすさに疑問を持つ。非効率な設計に感じる。 観客はできるだけ近くで見たい、質の高い音響を楽しみたい、ゆったりとした心地の良い座席で見たいといった欲求があると思うので、突飛なデザインにする優先度は低いと思う。(外観の建築のデザインは徳島のランドマークとしてデザイン性の重要度は高いと思う。) それならば工夫を凝らした照明や徳島を感じさせる美しい緞帳を作ってくれた方が印象的。	サイトラインについては、1席ごとに客席から舞台に向けた見え方を確認し、客席配置やテラスの重なりを調整することにより、質の高い良質な環境を確保するとともに、音響については、多角的なシミュレーションにより、初期反射音が舞台・客席に十分に到達するよう、ホール内部の形状を計画しており、「鑑賞環境の向上」と「魅力ある空間づくり」の両立を図ることができる計画として、実施設計を進めております。
94	音響にもこだわってほしい。	「大ホール」では、大型のミュージカルやオペラなどの公演も見据え、県内でこれまでなかった規模の舞台や、幅広い演出が可能な舞台設備を設けることとしており、ご期待に応えられるよう、良質な舞台設計を進めてまいります。
95	完成を楽しみにしていますが、新ホールは、ミュージカルがゆったりと上演できる舞台を持つホールになってほしいです。今まで徳島で見た上演は、いつも窮屈そうに見えました。	
96	一流の演奏家に来てもらうためには、ホールに備え付けられるピアノはヤマハやカワイではなく、スタンウェイにしてほしい。スタンウェイしか弾かない演奏家も多いと聞く。	素案の27ページのスケジュールに記載のとおり、令和6年度以降に、物品購入手続きに着手するよう想定しており、いただいたご意見は参考とさせていただきます。